

**アジア演劇人による国際共同制作
「東京芸術祭 2016 アジア舞台芸術人材育成部門(APAF)
国際共同制作ワークショップ」
上演会開催!**



国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、アジア舞台芸術祭実行委員会と共同で、今後のアジアの演劇界を担う期待の演劇人たちが国際共同制作に挑むプロジェクト「東京芸術祭 2016 アジア舞台芸術人材育成部門(APAF)国際共同制作ワークショップ」を実施します。

11日間に渡るワークショップの成果をご覧頂く上演会を11月18日(金)および19日(土)に、オープンディスカッションを21日(月)に開催致します。3名の個性溢れる演出家(アイダ・レザ(Aida Redza)[マレーシア]、島貴之[日本]、ワン・チョン(Wang Chong)[中国])を中心とした15名の若き演劇人たちによる国際共同制作のプロセス、切磋琢磨の過程と成果を、ぜひご覧ください。

■国際共同制作ワークショップ上演会

【日 程】 2016年11月18日(金)19時30分～、11月19日(土)14時～ (約90分)

※ 各演目終演後、演出家によるポスト・パフォーマンストークあり

【会 場】 東京芸術劇場シアターウエスト(東京都豊島区)

【参加費・申込先】 無料(右記ウェブサイトよりお申し込み下さい。) <http://www.butai.asia/j/home/info2016-2.html>

■オープンディスカッション —14日間のプロセスから国際共同制作の可能性を考える—

【日 程】 2016年11月21日(月)19時～21時

【会 場】 東京芸術劇場5階ギャラリー2(東京都豊島区)

【参加費】 無料(申込不要)

3名の演出家のプロフィール

●アイダ・レザ (Aida Redza) [マレーシア]

振付家、Euphoria Penang Modern

Dance Ensemble 芸術監督。ペナン(マレーシア)在住。アジアの哲学や神話の幅広い知識をベースに伝統と革新へのコミットメントを続け、建造物など特定の場所を会場とする作品で特に高く評価されている。オーストラリア、シンガポールをはじめ国内外での上演や講義も多数。

最近作に『Cross Waves & Moving Jetties』(Georgetown Festival 2015 委嘱作品)など。

●島 貴之(しま・たかゆき) [日本]

劇団 ajj 主宰、演出家。テキストから読み取ったイメージを風景として具現化することと、俳優の演技そのものを重視する演出が特徴で、美しく多層的な作品に定評がある。2013 年『紙風船』で利賀演劇人コンクールにて優秀演出家賞受賞。公益財団法人 舞台芸術財団演劇人会議員

●ワン・チョン(Wang Chong) [中国]

劇作家、演出家、薪伝実験劇団

1982 年北京生まれ、北京大学で経済と法律を学び、米国で演劇を研究し修士号を取得。2008 年北京にて薪伝実験劇団を設立。マルチメディアパフォーマンスやドキュメンタリー演劇を創作、中国の実験演劇界を牽引している。アジア各地やヨーロッパで公演を行うなど、国外でも精力的に活動。

2007 年にはハン・スーイン新人翻訳家賞を受賞。2012 年に Beijing News に取り上げられ、2013 年には Asian Cultural Council 助成、2015 年にはセゾン文化財団の助成を受けている。

<東京芸術祭 アジア舞台芸術人材育成部門>

宮城聰氏(静岡県舞台芸術センター芸術総監督)がプロデューサーを務め、アジアの若い演劇人が出会い、共同制作を行う場として2002年に始動。2016年度は国際交流基金アジアセンターが共催に加わり、特に東南アジアからの多彩な参加者を募ることで、アジア域内での若手演劇人ネットワークの構築と、国際共同制作へのトライアルの場としての役割を一層強化する事業。(アジア舞台芸術人材育成部門は、東京芸術祭 2016 の一環として開催されます。)



<国際交流基金アジアセンターとは> <http://www.jfac.jp>

独立行政法人国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN 諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

※ 本事業の詳細は、国際交流基金アジアセンターウェブページ (<http://jfac.jp/culture/dictionary/apaf/>) をご覧ください。